

# 多様性ある健康経営に新たなビジネスチャンス



**辻一郎氏** Tsuji Ichiro  
東北大学 名誉教授  
同医学系研究科公衆衛生学 客員教授

**辻** 国が2000年から始めた国民健康づくりの施策「健康日本21」は、来年から第三次計画が始まります。その中に「健康経営を実践する企業を10万社に増やす」という目標が含まれています。経済産業省のデータでは今年3月時点で、健康経営優良法人の認定数が約1万6000法人です。国や協会けんぽは中小

## 多様な社会における健康づくりの提供を

**辻** 即断即決。そのスピード感はグローバル水準に近づいていますね。

**小坂** 単なる情報共有の会議ではなく、ディスカッションをすることに重点を置いた会議を増やすことが大事ではないでしょうか。大学ではクラスルームで学生同士の討議を増やしたり、授業の前に5分間雑談したりするなど、横のコミュニケーションを大切にしています。今はそうした仕掛けが必要だろうと思えます。ところで、オンラインの活用といえば、私が目にした若手経営者の企業では、意思決定がチャットでしかも速い。方法も含めて今時の会社だと感じました。

**辻** 新型コロナが企業や労働者に及ぼした影響には功罪あって、功はオンラインで仕事ができる環境整備が進んだこと。育児や介護が仕事と両立できて助かったとの声も多いです。会議もオンラインで可能になったけれど、ちょっとした雑談のようなコミュニケーションが減ってしまったのはマイナス面です。

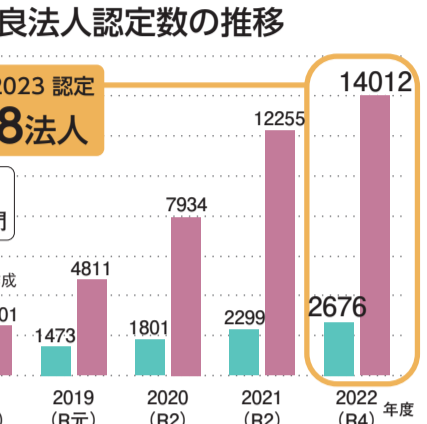
## 進んだオンライン化 今後の活用が鍵

**辻** それは本当に大事な話です。現状、病気や障害を持つ人は多く、高齢者の1割前後はフレイル(※)。がんは毎年100万人が罹患して38万人が亡くなる。というところは60万人以上ががんサバイバーとして社会にいるわけですから、病気や障害があっても、自分なりの能

**辻** 求人に関しても多くのところで働く人が不足しているの聞きまます。その中で障がい者の就労支援を積極的にしているNPO法人もあります。そして今は、がん罹患者がんサバイバーの就労支援の動きも非常に大きくなってきています。多様な人が自由な形で働ける社会をもっと目指さなければいけないと思うんです。

**小坂** 求人に関しても多くのところで働く人が不足しているの聞きまます。その中で障がい者の就労支援を積極的にしているNPO法人もあります。そして今は、がん罹患者がんサバイバーの就労支援の動きも非常に大きくなってきています。多様な人が自由な形で働ける社会をもっと目指さなければいけないと思うんです。

企業の支援を今後ますます積極的に進めていくことではないでしょうか。では、中小企業はどうすれば生き残っていくのか。人口減少でマーケット自体が縮小する中、自分たちだけが健康になることを目指すのではなく、地域に乗り出し、地域住民にも健康づくりサービスを提供するようなビジネスモデルを作っていくことが必要だと考えています。



**辻** 健康経営より広い意味として、ウェルビーイングという概念も注目されています。ウェルビーイング学会によるアワードで今年最優秀を受賞した不動産会社は、国籍、年齢、性別などが理由で住居を借りることに苦労している人と、対応してくれる不動産会社をつなぐサービスが評価されました。また、私が以前から注目しているある企業では、社会起業支援を行なって、社会問題解決の輪を広げていると聞いています。地域の中小企業において、社会課題に取り組み要素を入れていくことは、今後ますます必要になるでしょう。それが従業員のウェルビーイングであり、地域のウェルビーイング

**小坂** 健康経営より広い意味として、ウェルビーイングという概念も注目されています。ウェルビーイング学会によるアワードで今年最優秀を受賞した不動産会社は、国籍、年齢、性別などが理由で住居を借りることに苦労している人と、対応してくれる不動産会社をつなぐサービスが評価されました。また、私が以前から注目しているある企業では、社会起業支援を行なって、社会問題解決の輪を広げていると聞いています。地域の中小企業において、社会課題に取り組み要素を入れていくことは、今後ますます必要になるでしょう。それが従業員のウェルビーイングであり、地域のウェルビーイング

**辻** 健康経営より広い意味として、ウェルビーイングという概念も注目されています。ウェルビーイング学会によるアワードで今年最優秀を受賞した不動産会社は、国籍、年齢、性別などが理由で住居を借りることに苦労している人と、対応してくれる不動産会社をつなぐサービスが評価されました。また、私が以前から注目しているある企業では、社会起業支援を行なって、社会問題解決の輪を広げていると聞いています。地域の中小企業において、社会課題に取り組み要素を入れていくことは、今後ますます必要になるでしょう。それが従業員のウェルビーイングであり、地域のウェルビーイング

力の中で社会と向き合って自己実現していくこと、労働力として社会に貢献したり、楽しく生きがいを持って生活することは、これからの健康観の一つになっていくでしょう。

**小坂** その中で日本に欠けていると感じるのは医療関係者や行政から、コロナ対策では医療関係者や行政から、面会制限など制約的なお問い合わせが目立ちました。これからは当事者の立場からのコミュニケーションに変わっていくでしょう。健康経営でも、従業員を含め個人それぞれがマネジメントできるように形にしていける良いのではないのでしょうか。

**辻** 今まで「経営者ががんばれ」一辺倒だった健康経営も、従業員が「こういう職場にしたい」「こうしたら元気になる」と要求していくことも必要になります。



**小坂 健氏** Osaka Ken  
東北大学大学院歯学研究科長・医師  
災害科学国際研究所 教授  
スマートエイジング  
学際重点研究センター 部門長

地域に良い社会を作れば、人も企業も元気になる。それは一社だけで考えていても仕方ない。昨秋開催の「第11回健康寿命をのびせうアワード」では、業種も地域も異なる中小企業4社が、合同で社員の健康課題に取り組むプロジェクトが優秀賞を受賞しました。こんなふうにも色んなつながりから新たなビジネスも生まれ、新しい人間関係の中で一段と健康になっていくのが理想です。

**小坂** 今はクラウドファンディングなどもあって、ひと昔前に比べれば起業や資金を集めることが容易な世の中になっています。何かするのでも、国や行政に頼るのではなく、個人でもできる環境になってきました。社会の変革が起こっているとも言えます。その中で、若い人たちも自発的に行動できるように応援していきたいですね。

**小坂** 今はクラウドファンディングなどもあって、ひと昔前に比べれば起業や資金を集めることが容易な世の中になっています。何かするのでも、国や行政に頼るのではなく、個人でもできる環境になってきました。社会の変革が起こっているとも言えます。その中で、若い人たちも自発的に行動できるように応援していきたいですね。

にもなるというのが、これからの在り方だと思っています。

**辻** 社会に役立つことをしている企業に投資しようという動きも出ています。企業がある地域から始めて

にもなるというのが、これからの在り方だと思っています。

**辻** 社会に役立つことをしている企業に投資しようという動きも出ています。企業がある地域から始めて

## 教えて! あなたの職場の健康づくり 健サポフレ登録企業から投稿いただいた「職場の健康づくり」の一例をご紹介します。

### 食の課題改善へ「置き型社食」が好評

**三和工業 株式会社**

精密板金加工の三和工業(株)は、昨年3月に健康経営優良法人に認定、今年3月にはプライム500の認定を取得、2年連続で認定を受けた同社の取り組みは食事、健診、衛生・安全、コミュニケーションなど、内容が多岐にわたり、高い本気度が伺われます。健康経営に本腰を入れたきっかけは、創業者で前会長の三浦隆次さんが一昨年病気で他界したこと。代表取締役の佐藤隆一さんは、「晩年の会長は健康経営の導入に前向きでした。その遺志を継ぐ形だったこともスピード感を持って進められた理由の一つ」と話します。取り組みの流れは、取締役の佐藤さんと社員の伊藤恵子さんが健康推進委員として提案し



栄養バランスを考慮した「置き型社食」。どれでも一つ100円で購入可能

の冷蔵庫に専門業者から届くパック総菜を、社員が1つ100円で購入。昼食に食べたり、自宅に持ち帰ったりして利用できるというもの。総菜代金の大半を会社が負担しています。社員の昼食の栄養の偏りが気になっていた瞳さんたちが提案しました。佐藤社長は「売れ残りも無く代金の回収方法も問題ない」と分かったので、この仕組みを他にも利用し生かしたい」と考えています。

その他、レクリエーション大会の開催や、毎朝のラジオ体操、社内の健康だよりなど、広範な取り組みを実施。瞳さんは「二次検診を進んで受診してくれるなど、社員が協力的なことにも感謝しています。今後はヨガ教室や線虫がん検査も取り入れたい」と、さらなる取り組みへ意欲を高めています。



左から、取締役の佐藤隆一さん、代表取締役の佐藤隆一さん、伊藤恵子さん

**三和工業 株式会社**  
石巻工場 / 石巻市北村字大溜池93-3  
本社 / 遠田郡美里町練牛字26-36

## 健サポフレ登録企業募集!

職場での健康づくり(健康経営)に

- 1 取り組んでいる
- 2 取り組む予定がある
- 3 取り組みたいと考えている

以上のいずれかに該当する、宮城県内に事業所を有する企業・団体であること。

**登録のメリット**

- 「職場での健康づくり勉強会」などに、優先的に参加可能。
- 「職場での健康づくり情報紙」などを職場まで、優先送付。
- 「健康みやぎサポーターズ」協賛社による、サービス提供・商品サンプリング・ミニセミナーなど。
- 健康経営・職場での健康づくりに関する、情報の提供・質問への回答・取り組み支援など。
- 登録各社からの情報や取り組み事例を、河北新報特集紙面および特設WEBサイトで紹介。

## 登録企業増加中!

「健サポフレ登録」登録企業・団体の健康経営取り組み状況

2023年6月時点 登録110社

既に取り組んでいる 79%

これから取り組む 14%

将来的に取り組む 7%

いつ頃から実施していますか?

- 1年未満 9%
- 1~3年 27%
- 4~5年 18%
- 5年以上 46%

登録料・会費 無料

健サポフレ登録は WEBサイトから

検索

<https://www.kahoku.co.jp/ad/health-suppl/entry/>



## 健康みやぎサポーターズ 2023年度スケジュール

2023年

- 6月30日…紙面特集Vol.17 掲載
- 9月…紙面特集Vol.18 掲載
- 10月…健康経営勉強会
- 11月…紙面特集Vol.19 掲載

2024年

- 1月…健康づくり情報紙発行
- 2月…紙面特集Vol.20 掲載